

カーボライト・ゲロのオーブンがF1マシンの開発を加速

他の先進の高性能技術アプリケーションと同様に、多くのF1レーシングチームのエンジニアリング業務においても、業務拡大の為に、F1以外の自動車や、航空宇宙技術部門に向けた商業化が進められており、F1からの波及技術の開発や、知的財産に焦点を当てた関連会社が重要な役割を担ってきています。



カーボライト・ゲロは、多くのF1チームのお客様を顧客に持っていることを誇りに思っています。最も成功しているF1レーシングチームの一つから、「スターティンググリッドのF1マシンにウイングを付けたいのだが、その手助けをしてほしい」と依頼を受けました。そのF1チームは、カーボライト・ゲロならきっとその要求に応えられる電気炉を提案できると確信していたのです。

F1の世界で先行していくためには技術的に優位である必要があります。前述の依頼をしてきたイギリスのミルトン・キーンズにあるF1の会社では、その為に絶えず設計、開発をし、試作部品を洗練していました。仮組立、組立、試験をし、そして要求される高性能が満たされるまで再設計を繰り返すのです。

この挑戦的開発サイクルの一部として、カーボライト・ゲロは、高特化大型汎用オーブンLGP3-150のカスタマイズ品を提案しました。このオーブンは複合モールドの硬化後乾燥や、炭素繊維複合材料のボディーパーツやウイングのような数々の部品に用いられる接着剤の水分抜き取りに利用されます。

このカスタムオーブンは、5つの異なるプログラムが可能な温度プロファイルを保存・呼び出しすることができ、RS232での通信が可能なコントローラーオプションを搭載することにより、この硬化サイクルに再生産性をもたらします。使用者は手元で簡単に正しい昇温と加熱時間を選択できます。高価な加熱対象とオーブンは追加された独立型過熱防止装置によって保護されます。さらに水分・煤煙は組み込み型オプションである天井型排気ファンにより作業場からダクトを通して排気されます。

この1,500L大型汎用オーブンは、標準で、±5°Cの温度均一性と制御精度を持ち、50°Cから300°Cの温度範囲で使用できる仕様です。

追加の要求として、標準の前面コントロールパネルを側面に変更しました。コントロールパネルの移動により、循環ファンやバッフル板は、側面や背面にかわりオープン基礎部分に取り付けることになりました。

カーボライト・ゲロのプロダクトマネージャーであるアラン・ストリートは、カーボライト・ゲロが選ばれた理由を次のように考察します。「私たちの洗練された標準デザインと、顧客の精密で高度な要求に答えられるカスタマイズ能力が、これまで多くのF1優勝チームを納得させ、カーボライト・ゲロの製品を購入していただくカギになっていると思う。最高の性能を実現するために彼等自身でせめぎ合っている先進的な技術チームが、彼らのゴールへの助力としてカーボライト・ゲロを選択してくれたことを大変光栄に思っています。」